

関係機関・団体・課・室長 様

兵庫県農政環境部長

平成26年度兵庫県農業気象技術情報第3号(7月情報)について(送付)

このことについて、下記のとおり情報を作成しましたのでお送りします。

なお、気象庁のエルニーニョ監視速報(No.261)によると、夏には5年ぶりにエルニーニョ現象が発生し、秋にかけて続く可能性が高いと発表されていることを申し添えます。

記

1 気象経過・予報から想定される栽培上の留意点と対応策

作物	地域	栽培上の留意点	対応策
水稲	全県共通	<p>1 病害虫</p> <p>(1) イネ縞葉枯病について、ヒメトビウンカのウイルス保毒虫率は、近年増加傾向にあり、特に西播磨地域では20%を超える地点もみられている。小麦における発生量は平年並みであるが老齢幼虫が多く、昨年より多くの個体が水田へ移動していると考えられることから、保毒虫率の高い地域ではイネ縞葉枯病が多発生すると考えられる。</p> <p>(2) プラストムによると、6月5日に県北西部、6月7、19、22日にほぼ全域で、6月29日に県北西部で葉いもち感染好適日が出現している。気温、降水量はともに平年並で曇りや雨の日が多いと予想されるため、やや多く発生する可能性が高い。今後の発生に注意する。</p> <p>(3) カメムシ類による斑点米の発生が予想される。</p>	<p>1 病害虫</p> <p>(1) 保毒虫率の高い地域や昨年度発病が多く見られた地域では、本田での薬剤防除を実施する。特に、育苗期後半～田植時に薬剤施用をしていない場合は必ず実施する。保毒虫率が低い地域であっても、ヒメトビウンカの発生が多いと本病が多発生することがあるので注意する。</p> <p>(2) 補植苗は早急に処分する。ほ場をよく観察して葉いもちの発生状況を把握する。特に、湛水直播には注意が必要である。葉いもちが発生している場合はただちに防除する。また、強い中干しを避け、穂いもちの防除は穂ばらみ期～出穂直前に実施する。</p> <p>(3) カメムシ類対策として出穂2週間前までに畦畔の草刈りを行い、乳熟期から糊熟期までに防除を行う。</p>
	県北	<p>1 生育状況</p> <p>葉齢、茎数ともに平年を上回っている。特に茎数はかなり多くなっている。</p>	<p>1 生育状況</p> <p>出穂期予測を参考に穂肥の施用を行う(分施体系の場合)。</p>
	県南	<p>1 生育状況</p> <p>葉齢は平年を上回っている。茎数は平年並み～やや少ない。</p>	<p>1 生育状況</p> <p>出穂期予測を適宜確認し、中干しの実施、穂肥(分施体系の場合)を施用する。中干しは小ひびが入れば走り水を施し、おおむね10日間程度とする。</p>

作物	地域	栽培上の留意点	対応策
大豆	全県 共通	1 栽培管理 「サチユタカ」は、播種適期の7月上旬を目途に12株/m <sup>2</sup> の密播とする。  2 病害虫	1 栽培管理 播種直前に耕うん、砕土を丁寧に行い、播種する。 明きょ等の排水対策を必ず講じる。 中耕培土を行う場合は、除草を兼ねて早めに行う(目安は本葉3葉期以降)。  2 病害虫 黒大豆の茎疫病の常発地では、排水対策を徹底する。

ブラスタム：葉いもちの発生予測システム。気象条件から感染を推定し、発生時期を予測する。毎週、月曜日に更新。

〔参考〕水稲生育予測〔近畿中国四国版〕(注)

(6/27現在)

時期	北但平坦部 (豊岡市八社宮) 移植日5/15 3.5葉植 コシヒカリ	県北山間部 (新温泉町丹土) 移植日5/10 3.5葉植 コシヒカリ	南但平坦部 (朝来市和田山町枚田) 移植日5/20 3.5葉植 コシヒカリ	県南平坦部 (加西市別府町) 移植日6/1 3.5葉植 キヌヒカリ	淡路平坦部 (南あわじ市榎列) 移植日6/20 3.5葉植 キヌヒカリ
予想出穂期	<b>7 / 3 1</b>	<b>8 / 7</b>	<b>8 / 4</b>	<b>8 / 9</b>	<b>8 / 2 0</b>

(注) 予想出穂期は6/28以降、気温が平年並に推移した場合の予測値です。

作物	地域	栽培上の留意点	対応策
キャベツ	全県共通	<p>1 栽培管理</p> <p>(1) 目標とする収穫時期に応じた播種時期を守る。</p> <p>(2) 高温時の育苗のため遮光資材を利用したり、乾燥や過湿にならないよう管理して健苗育成に努める。</p> <p>(3) 育苗中期以降の肥料切れに注意する。</p> <p>(4) 降雨による作業遅れ、台風、長雨による冠水に注意する。</p> <p>(5) 定植後の灌水等活着促進、欠株の防止に努める。</p> <p>2 病害虫</p>	<p>1 栽培管理</p> <p>(1) 地域の暦に従って種子、育苗資材等の準備を進める。</p> <p>(2) 浮かせ育苗に努め、遮光資材を用いる場合は徒長に注意する。発芽後、子葉の形状が異常な苗は除く。</p> <p>(3) 早めに液肥等による追肥を行う。</p> <p>(4) 高畝栽培とし、明きょ等の排水対策を徹底する。</p> <p>(5) 本田は灌水が可能なほ場を選び、適切な土壤水分の時に耕うん、畝立てを行ない、すみやかに定植する。 機械移植では、苗が直立し、鉢土が土壤に埋まるよう注意し、不十分なものは手直しする。 定植後、灌水チューブ等で十分に灌水する。</p> <p>2 病害虫 「病害虫発生予察情報」「兵庫県農薬情報システム」を参考に適正に防除する。</p>
果樹	全県共通	<p>1 生育</p> <p>樹種によりバラツキがみられる。</p> <p>樹種別の生育状況</p> <p>クリ：開花期は平年比及び前年比でやや早い。</p> <p>ブドウ：開花期は平年並み～やや遅い。着粒は平年並み。新梢の生育にバラツキが見られる。</p> <p>ナシ：開花期に北部の一部地域で霜害が発生した。その後の肥大はやや遅れ気味である。5月下旬より高温少雨となったため、新梢の伸長停止がやや早い。</p> <p>イチジク：発芽は前年よりも1日早く（平年より13日程度遅れ）、着果始めは前年より9日程度早い。</p> <p>2 病害虫</p> <p>ナシでは黒斑病の発生が例年よりやや早く、やや多い。</p>	<p>1 生育</p> <p>雨水がすみやかに園外に流れるよう、明きょや排水溝の掃除等の排水対策に努める。</p> <p>梅雨明け後の干ばつに備えて、灌水設備や敷き草などの準備を行う。</p> <p>2 病害虫</p> <p>雨で発生が助長される病害、一部発生が目立つ虫害に留意し、降雨の合間を見て適期防除に努める。</p> <p>高温少雨が続く場合には、ハダニ類等の害虫に留意し、適期防除を行う。また、早めの灌水を行う。</p>

野菜・果樹の情報については、原則2ヶ月ごとに作成します。  
防除については「病害虫発生予察情報」及び「兵庫県農薬情報システム」を参考にすること。

本情報は、6月30日時点のデータを元に作成しています。

2 気象予報

(1) 近畿地方の向こう1か月予報(6月28日～7月27日)

[平成26年6月26日 大阪管区气象台発表]

**【概要】**  
 平年に比べ曇りや雨の日が多い見込み。  
 週別の気温は、1週目は平年並の確率50%、2週目は平年並の確率40%。

**【確率】**  
 気温、降水量及び日照時間 [近畿地方] □低い(少ない) □平年並 □高い(多い) (単位:%)

気温	30	40	30
降水量	20	40	40
日照時間	40	40	20

各週の気温経過 [近畿地方] □低い □平年並 □高い (単位:%)

1週目	20	50	30
2週目	30	40	30
3～4週目	30	30	40

(2) 近畿地方の向こう3か月予報(7月～9月)

[平成26年6月25日 大阪管区气象台発表]

**【概要】**  
 平均気温は平年並の確率40%。  
 7月：期間の前半は平年同様曇りや雨の日が多く、後半は平年同様晴れの日が多い見込み。降水量は、平年並または多い確率ともに40%。  
 8月：平年に比べ晴れの日が多い見込み。気温は平年並または高い確率ともに40%。  
 9月：天気は数日の周期で変わる見込み。気温は平年並または低い確率ともに40%。

**【確率】**  
 [近畿地方] □低い □平年並 □高い (単位:%)

気温

3か月	30	40	30
7月	30	40	30
8月	20	40	40
9月	40	40	20

降水量 [近畿地方] □少ない □平年並 □多い (単位:%)

3か月	30	40	30
7月	20	40	40
8月	40	40	20
9月	30	40	30

気温・降水量・日照時間は低い・平年並・高い(少ない・平年並・多い)の3階級で予報されます。階級の幅は、平年値の作成期間(1981～2010年)における各階級の出現率が33%となるように決めてあります。

ホームページアドレス

- ・「病害虫発生予察情報」  
<http://hyogo-nourinsuisangc.jp/chuo/bojo/index.htm>
- ・「兵庫県農業情報システム」  
<http://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>
- ・「プラスタム・病害虫発生情報携帯サイト」  
<http://hyogo-nourinsuisangc.jp/mobile>
- ・「近畿中国四国地域水稻生育予測サイト」  
<http://tekisaku.jp/ricediag/>



プラスタム・病害虫発生  
 情報携帯サイトQRコード

問い合わせ先

本情報に関すること

- ・兵庫県農政環境部農林水産局農産園芸課 TEL (078)341-7711(代表)
- 農産班：農産担当 内線 4074
- 農産班：野菜担当 内線 4054
- 花き果樹班 内線 4066

技術内容に関すること

- ・県立農林水産技術総合センター
- 企画調整・経営支援部 TEL (0790)47-2435
- 農業技術センター 農産園芸部 TEL (0790)47-2410
- 農業技術センター 病害虫部 TEL (0790)47-1222
- 北部農業技術センター 農業・加工流通部 TEL (079)674-1230
- 淡路農業技術センター 農業部 TEL (0799)42-4880

兵庫県ホームページでも本情報を公開しています。

URL: [http://web.pref.hyogo.lg.jp/af11/af11\\_000000097.html](http://web.pref.hyogo.lg.jp/af11/af11_000000097.html)

(兵庫県トップページ>食・農林水産>農業>農作物>農業気象技術情報)